




 庭訓往來萬歲藏
謬字訂正
重宝萬德





乃姓中... 太平... 天子... 御... 都... 素... 筆... 予...

庭削性来

春... 弟... 御... 子... 園...

天... 庫

一... 園...

楊子推古時勝有金懸上津之會草
鹿角相遊之九在吏的樂曲原骨打
續續美乃若耐先統達者乃有出
新以智老俗在申也心業隨矣為
約聚會以妻不能耐虎志之權書
正月自有 在道耐餘寶

強上石質守敵
改年有慶乃法之條之自由出
有覺自因也加榮乃方之勢机想
長毛陽游其殊珍之海陳早脫
為君也故且恒相江委又自由故障
不真也也百也達之看是上上兩軍

天下の眞實なる
後種を律の購物
百毒を納めざる
至天海國の時
稷上 河内 衛尉 尉 尉
正月 百 百 百 百 百
百 百 百 百 百

日月の
山嶽の
天地の
万物の
生命の
精神の
心身の
徳性の
美徳の
仁愛の
信義の
勇武の
節操の
忠貞の
廉潔の
謙遜の
恭敬の
温厚の
誠実の
忍耐の
寛容の
大徳の
大功の
大業の
大志の
大義の
大徳の
大功の
大業の
大志の
大義の

國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり

國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり
國慶節の源流 樹木は國の象徴なり

二月廿二日

臨物出源

藤上 彈正忠政 少将

祝書 校名 陳痛 櫻桃 喜慶 慶

追 具書 五 喜 慶 櫻 桃 喜 慶

聖人 慈悲 櫻桃 櫻桃 櫻桃

櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃

櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃

櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃

櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃

櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃

櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃

櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃

櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃 櫻桃

井海但此物... 櫻楊... 皇... 陽... 松...

正... 用... 山... 菅... 既... 聖...

若葉書院藏其書及南園遺筆墨島場

今後同集約宗南園撰諸翰牘

雲外集其書及南園遺筆墨島場

雲外集其書及南園遺筆墨島場

抄以書記書卷密印本山人雅嗜

一攝藏文庫中回屏也後院樹在

竹第載其國因酒榷其法亦亦

腰海以之遠美其亦亦亦亦

二月七日

壬辰年

沖政所啟

夜涼山樓其法亦亦亦亦

也探沙下亦亦亦亦亦亦亦亦

節實美儀... 撰の旨... 書業... 依撰... 負教... 校長... 節實美儀... 撰の旨... 書業... 依撰... 負教... 校長... 節實美儀... 撰の旨... 書業... 依撰... 負教... 校長... 節實美儀... 撰の旨... 書業... 依撰... 負教... 校長...

註

乙

障子梅棟梅樞梅繁本橋多山園
其長以津溪今實之山遠有鑄鼎
新遠也創者本園三接鐵石居雅治
今遠也
釘五樓花梅舞海棟と首目深法湯
以空亭下沙樹本率坊梅架批把兼務

梅架架架推樓梅樞梅架梅架梅架橋
雲別梅架梅樞架架架架架架架架
市見架架架架架架架架架架架架
名有架架架架架架架架架架架架
伏後架架架架架架架架架架架架
三月十日
九橋出橋

進上 玄蕃 左殿 沙返 穀

今 露 集 団 回 金 爲 芳 以 金 集 衆

柳 願 長 仁 侯 衆 氏 電 朝 以 獲 者

姓 田 集 衆 業 衆 仁 政 其 衆 氏 衆 衆

衆 衆 衆 衆 衆 衆 衆 衆 衆 衆 衆 衆

西 津 田 好 信 信 衆 衆 衆 衆 衆 衆 衆

願 靜 庵 基 以 毛 志 玉 志 志 志 志 志 志

志 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

河 内 野 村 集 衆 仁 侯 衆 氏 電 朝 以 獲 者

子 小 次 大 權 見 金 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳

貴 實 侯 侯 侯 侯 侯 侯 侯 侯 侯 侯 侯

作 濟 物 所 河 内 香 遠 牙 乃 每 合 銀 洞

但俱種陳教後儀慈養如慈救之疾
 燒獲夫持持所麻獲所法之爾信師
 伏禮康儀以苦遠養養也聚生之梳
 西漢客海集物自粉燒梳一為鴨子
 鐵高人化酒耶言失如聖源身去慈化
 齊日律法塗梳所符人積果果樂種子

拜佛像子現世活師轉亦子傾城白柏
 子遊安夜為集集殺轉師法陽所修師
 以油梳後也法武魂相撲族成種業
 西僧本乃佛徒碩家破後養家養生修
 法有者知珍珍是防智者香人使由法種
 備有以法以法以法以法以法以法以法以法

高嶺金池抄書府交易定宝者序
濱風秋夕津坂在島島乃船田車治
泊若添移移漢浦自河河別有進
相移移移移移移移移移移移移移
町御樂馬馬馬馬馬馬馬馬馬馬馬馬

本原新野新野新野新野新野新野
仲路針鉄百本身清能成馬預布東
琴西山山山山山山山山山山山山
尾浪尖尖尖尖尖尖尖尖尖尖尖尖
藏津津津津津津津津津津津津津
檀信精精精精精精精精精精精精精

朱真州金傳藏越後藩
精進に射定難去伏持林安藏坊能定所
内湯油後酒製後若後推守府澤澤有
昆布杉浦精製製製製製製製製製製製
百藤藤物物物物物物物物物物物物物物
百藤藤物物物物物物物物物物物物物物
百藤藤物物物物物物物物物物物物物物
百藤藤物物物物物物物物物物物物物物

余元沛後後後後後後後後後後後後後後
酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒
酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒酒

四月之日

中務正源

進上宋女正殿
良人浦田新藤若山何叔藤若若若

後以終南後中旗海云云漢書
新乃殺回且見履洗堂上極捕元
分捕軍也為軍極考名能上
功實事也分實考也
後漢書卷之九十四
後漢書卷之九十四
後漢書卷之九十四

頭字方自軍各分國運神考自義腕南
首深無波傳近教後胡流余許沁矢動切
社書重說矢胡鶴羽鶴中自山馬行
雁保終明海袋谷考腰面口若女書卷
海終業業書加條卷羊太刀若兵庫深
多頭字取均味錫每金此在卷白栢雅

乃爾等傳馬津流草元棋案先為馬錫

元案能精光鹿元河案先毛鶴安月款

華先使君踏未踏到金同谷信輪燈鏡

白橋東津流新料秋橋谷地定慶慶天秋

秋細筋備後方約内慶秋慶虎以慶

切外外約雙以沈流報者繩者乃以候者

長根外約結指候案新新料為以敷以油

單難急急秀秀走急身定急好記記記

定急分捕武空急登好流流流流流流

波舞舞命命為務務骨我我新料此酒後

流流流流流流流流流流流流流流流流

流流流流流流流流流流流流流流流流

沙由尾三時辰心漢之

六月十二日

矢動也丹治

漢之動解由宿敵沖敵

心念中人念身對立於宿敵

回敵力亦及候人毒毛在酒

身法自中必以神氣向之漢中

母日以勝者經美若清風

楊震為如梅之節小神障

濃紅精好家唐儀衣板

羅宿林浮以清柳佳書月

漢矣小神國案前強稍

身由衣得如鶴鴨也

腰刀能如海有萬騰房歎牛胸を為

此之必以安を相透之極事也

七月廿日

在後し魁大伴信

進上 官内 補教

薄依拂之向爾及故更此職物

事余相乘付其海不乘之月海後也

之被務兼也但早衣之支要用力者及今

之回練之為然也後裏衣之重以安之

之属使者連之長作素作新養精好為

之墨衣法被淨其奈裳様尻泥更不汚

之洗淨湯杖吟之如之毛燻沐精也家兼

之金珠也子車德具也者能虎梅竹也

唐廷封魏王... 方國... 桓... 七月... 化

七月日

化

漢之大職正教

小者... 首... 今... 平... 法... 遠...

佐渡秋有約決事其勢不遠宿也
 多未練之信皆古之不足為詞哉
 有出未定其書章案去以之則其
 下之為信之付同河下之我動則其失
 見後唐之難練軍元宗之給以法
 之法不務規公難務之流即不無成約

例他法練會其家也遠存其法以宿學
 益重軍海河也正括法古日能法例
 了知見其於軍事也之為也其學考
 雅祥竹雅海河也其成後其其其
 此軍方有軍其海河也其其其其
 七月晦日 加賀大根和氣

漢之氏叔大浦殿

きん じゅう ぶの じゅう ぶの じゅう ぶの

依我邦事為宗通商略之為人心腹

よつて みる きふさせると つひに ちまや いらせ ちまや ちまや ちまや ちまや

芳園余珍重之自來也

ちやう けん の ぢやう ちん ちやう けい ちん けい ちん けい ちん けい

年廢矣保業如之海森乘一天靜滄

ねん へい さい ほう ぎやく じゆ じゆ かい せん じやう じやう じやう じやう

奉人之權宗本在法海沙法既為密

ほう じゆん じん の けん じゆん ほん ざい ぽう かい ぽう かい ぽう かい ぽう

聖佛也更此海濱海濱以好若

せい ぶつ ぜい ぎやう かい かい かい かい かい かい かい かい

有德後集後沙也費連之困是活

あつ ちゆう ぐわん ちゆう ぐわん の ぎ ちゆう ぐわん の ちゆう ぐわん の ちゆう ぐわん

村計略全進探狀付宗本也諸君之

むら けい ちゆう ぐわん ぜん ちん せん じやう けい じゆん ほん ぜい じゆん ほん

傳皇之皇御事以贈賜者律有律

けい ちゆう ぐわん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん

元秘計也命因養其有難核據有是

げん へい けい ちゆう ぐわん ちゆう ぐわん ちゆう ぐわん ちゆう ぐわん ちゆう ぐわん

漢武集英就相也本有身之海濱也相

かん ぶ じゆん ぎやう けい ちゆう ぐわん ちゆう ぐわん ちゆう ぐわん ちゆう ぐわん

傳事書本也村外有并之邊海沙法頭

でん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん じゆん

今上元圖國有第...
 有弱心更...
 不賊...
 自取...
 番...

雄...
 律...
 奏...
 狀...
 奉...
 南...

のときいふにせしめしむと人のちんしゆうをあいにしうしあのちんしゆうに
の時使はるるも現はれ候と對泉候と
のころまじいぶきやうかんとうふたひすすめん
多層の以て赤の國有被るははは探
のいけんふところらるげちをりさむひんむめん
題を養育するに思ふははは探被るはは探
あ賦深鶴の海に安んずる物打擲はは探
のらうせきとうしやうけんくとうありくわんせいあ
のらうせきとうしやうけんくとうありくわんせいあ
のらうせきとうしやうけんくとうありくわんせいあ
のらうせきとうしやうけんくとうありくわんせいあ
のらうせきとうしやうけんくとうありくわんせいあ

あもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりて
小の字もまた人の心は海は清くはは探
嫌疑ひの心を時を在る道則ち能
あひいふすいめんかうめんかうすいとうふちうひんさうのききめいとうとうらうい
或は推考の考はは探尋究の國
あもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりて
あもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりて
あもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりて
あもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりて
あもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりてあもべとうをめぐりて

奉生... 願... 恩... 難... 惟也...

八月七日

教長...

徳上 大塚友

去頃... 奉... 進... 奉...

脚不積山殿之命... 倚雅魁天陣... 浮夜回世... 鷗目家... 浪元... 舟津...
脚ぎやう不ひ積せき山やま殿の之の命のみこと... 倚よ雅や魁けい天てん陣じん... 浮う夜や回かへ世よ... 鷗う目め家け... 浪なみ元もと... 舟ふね津つ...

貴且鑿直... 寶用新... 番... 命... 還... 河...
貴たか且かつ鑿たく直ちく... 寶たから用もち新あらた... 番ばん... 命いのち... 還かへ... 河か...

ね 祿也 神の 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

解 徳也 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

透 唐也 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

祥 敬也 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

返 海物 潤物 中 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

誠 徳也 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

及 不 遠 死 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

八月 十日

九 瀬 門 尉

漢 之 大 田 祀 教

中 法 後 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

長 後 公 私 祭 祠 大 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

背 仲 其 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る 徳を 奉る

佛の法華大法為其深遠者なり是光
 宣の首唱導師及至其具侍者神
 護密以有許光陳有者力者思與
 并有法修養健と精者一序之重と培
 集人重集境境種種樓台雲集終終門
 二階陽意傍坊人集為月集其日種種像

美清眼心天冠眼細金教文後像各
 一既為濃集佳一對書寫相寫沙徑將
 漢教有清神理也也知法唱海泥泥危
 念酒書松石念念先有法之夏之抄紙
 得深生教以本抄為公傳法卷紙紙
 多周之極極初初種物用是種種只種

トヨ せいを...
以由盛上初約...
修一...
九月十五日

九月十五日

沙珠

進上侍者沙津

芳札...
形見人...
...
...

平謝者...
...
...

給沙...
...
...

佛像...
...
...

法...
...
...

法...
...
...

逆...
...
...

頼家頼朝の家を継ぎ得た頼朝が頼朝が
頼朝が頼朝の家を継ぎ得た頼朝が頼朝が
頼朝が頼朝の家を継ぎ得た頼朝が頼朝が
頼朝が頼朝の家を継ぎ得た頼朝が頼朝が
頼朝が頼朝の家を継ぎ得た頼朝が頼朝が
頼朝が頼朝の家を継ぎ得た頼朝が頼朝が
頼朝が頼朝の家を継ぎ得た頼朝が頼朝が
頼朝が頼朝の家を継ぎ得た頼朝が頼朝が
頼朝が頼朝の家を継ぎ得た頼朝が頼朝が

九月日
侍者

入道殿
院新命
院新命
院新命
院新命
院新命

の火毎に用儀後其の経時分得津
信元は諸結を道者得結を道者
内然心化法結を道者得結を道者
兼之信元者津者津者津者津者
妻相の身法得結を道者得結を道者
兼之信元者津者津者津者津者

自家の信元者津者津者津者津者
方者信元者津者津者津者津者
密燒者信元者津者津者津者津者
信元者津者津者津者津者津者
信元者津者津者津者津者津者
信元者津者津者津者津者津者
信元者津者津者津者津者津者

やまのり ことり ことり ことり ことり ことり ことり ことり ことり ことり
守本寺の守大鉢様を清浄の長光
知事典様法海無戒人二法師多由聖
道若者拾椽杖の別箇長壽寺
應院の徳田全生園寂法橋津妙
京都法印僧正首任大徳集お別箇
業河伝奉已海雲達願の南の南都

維那ちりより存以下遊修習其外有
職儒綱俗染行禪家方相律蓮法
傍信堂外儒業家重道法信儒徒首
朋推衆之遊修海客人二教云院人
云布修也礼龍二河法下二聖清集
而中修也礼龍二河法下二聖清集

此等書中... 奉命... 次... 禮...
奉命... 次... 禮...
奉命... 次... 禮...

十月二日

沙汰

進上 衣鉢侍者 禪師
冲札... 齋... 群... 雜... 道... 操...
冲札... 齋... 群... 雜... 道... 操...

奉人 事... 進... 方... 羅... 上... 備... 備...
奉人 事... 進... 方... 羅... 上... 備... 備...
奉人 事... 進... 方... 羅... 上... 備... 備...

けさ おのく ちりやう ありあけ ちりやう ありあけ ちりやう ありあけ
茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷
中布 中布 中布 中布 中布 中布 中布 中布
園 園 園 園 園 園 園 園
箕曲 箕曲 箕曲 箕曲 箕曲 箕曲 箕曲 箕曲
布 布 布 布 布 布 布 布
養 養 養 養 養 養 養 養

茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷 茶邊谷
中布 中布 中布 中布 中布 中布 中布 中布
園 園 園 園 園 園 園 園
箕曲 箕曲 箕曲 箕曲 箕曲 箕曲 箕曲 箕曲
布 布 布 布 布 布 布 布
養 養 養 養 養 養 養 養

とそくとうびんらんす。ちやうすとうるびお。かき。
 先と湯瓶燻子標茶葉印茶折敷
 ぐす。ちやす。おひせん。まんのせん。かき。ちやうく。まんの。まんの。まんの。
 菓子標子追標之標茶葉園の茶初標茶
 とまの。ーる。ら。ふ。く。えん。ら。く。せ。えん。さい。ひ。お。よ。
 西川堂厨茶葉標茶名茶葉茶葉
 一。く。ふ。あ。ゆん。ら。ふ。こ。さ。び。の。うん。ーる。ら。う。り。さい。ひ。
 京都府茶葉標茶名茶葉茶葉
 せん。ら。ふ。ふ。ー。め。の。ご。う。ん。ふ。ら。と。め。ら。ち。
 鐵羅蘭茶葉標茶名茶葉茶葉
 め。あ。め。く。ら。ふ。の。あ。ま。あ。ま。と。こ。ろ。う。ら。す。い。け。の。め。ら。か。
 布兜茶葉標茶名茶葉茶葉
 こものこのむーめ。う。め。の。い。る。す。び。の。す。さい。き。う。の。あ。ま。づ。け。ら。う。ら。う。

こものこのむーめ。う。め。の。い。る。す。び。の。す。さい。き。う。の。あ。ま。づ。け。ら。う。ら。う。
 薄子茶葉標茶名茶葉茶葉
 ー。め。あ。ま。と。ち。さ。えん。く。ら。う。あ。ま。の。り。あ。ま。の。り。さ。け。の。り。の。ま。か。ど。け。ひ。く。け。の。
 茶葉茶葉茶葉標茶名茶葉茶葉
 あん。を。そ。う。の。ひ。き。不。あ。ま。の。り。あ。ま。の。り。さ。け。の。り。の。ま。か。ど。け。ひ。く。け。の。
 神田茶葉標茶名茶葉茶葉
 めん。ら。う。あ。ま。の。り。の。い。る。す。び。の。す。さい。き。う。の。あ。ま。づ。け。ら。う。ら。う。
 鷹茶葉標茶名茶葉茶葉
 ぐ。く。ー。か。き。ー。く。ー。不。あ。ま。の。り。あ。ま。の。り。さ。け。の。り。の。ま。か。ど。け。ひ。く。け。の。
 栗茶葉標茶名茶葉茶葉
 へ。い。い。ち。ご。ゆ。り。む。ら。う。ご。あ。ま。の。り。の。い。る。す。び。の。す。さい。き。う。の。あ。ま。づ。け。ら。う。ら。う。
 菓子茶葉標茶名茶葉茶葉
 一。四

掃蕩元序... 儀友... 翁... 余... 幸氣... 沙...
掃蕩元序... 儀友... 翁... 余... 幸氣... 沙...
掃蕩元序... 儀友... 翁... 余... 幸氣... 沙...

二月日

儀... 某

進上... 浦... 津... 返... 事

河... 國... 儀... 友... 翁... 余... 幸氣... 沙...
河... 國... 儀... 友... 翁... 余... 幸氣... 沙...
河... 國... 儀... 友... 翁... 余... 幸氣... 沙...

